授　業 科目名	【Ｇ】 【Ｈ】 【Ｉ】	―――― ―――― 教養導入ゼミ	区分 必 履 修	開講年次	【Ｇ】－ 【Ｈ】－ 【Ｉ】1	単位数	【Ｇ】－ 【Ｈ】－ 【Ｉ】2
科目区分	基本科目						
授業形態	対面開講						
担当形態	単　独						
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブ タイトル	時には「勝敗」を超える、 体育・スポーツ／武道／オリンピック・ムーブメントの教育・社会的な意義、価値、課題に触れてみよう！			担当者	青柳　秀幸		

授業概要	【概要】	本ゼミでは、学生生活や就職活動、就職後の活躍やリーダシップの充実を図るために、「自分の考えをもつ」「聴く」「読む」「考察する」「伝える」「学び合う」ことなどの面白さや醍醐味について、個性を尊重し合いながら試行錯誤し、学び合います。 ゼミメンバーで積極的に協力／協働しながら、個性を活かしたり発揮しましょう。これは本学および学園の「理念／スローガン」である〈真心教育〉や〈凡事徹底〉に触れて貰うことでもあります。 主な教材・話題として、体育・スポーツ／武道／オリンピック・ムーブメントの教育・社会的な意義、価値、課題を取り上げます(批判的な見解を含む)。 スポーツの好き・嫌い、得意・不得意は問わず、大学生活を豊かにしたい学生さん、何か前向きに変化・挑戦しようとする学生さんを歓迎します。 地域・社会貢献／交流活動の一環として、2年生のゼミ生や強化指定部などと連携しながら、子どもたちに向けた「スポーツ体験イベント」などの企画・運営なども試みます。
	【到達目標】	・「自分の考えをもつ」「聴く」「読む」「考察する」「伝える」「学び合う」ことのいずれかの面白さや醍醐味を、自身の経験に基づいて理解している ・スポーツ・武道やオリンピック・ムーブメントの教育・社会的な意義、価値、課題について、自身の経験に基づいて理解し、自身の言葉で説明する ことができる ・自身や他者の言動を整理・考察し、自らの言葉で説明しようと努力することができる

履修条件	他者の学びの時間・環境を尊重すること。

アクティブラーニングの方法								
【○】	事前学習型	【○】	反転授業	【○】	調査学習	【○】	フィールドワーク
【○】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【○】	PBL	【－】	その他

ディプロマ・ポリシーとの関連性		
	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎　(よく当てはまる)
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎　(よく当てはまる)
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎　(よく当てはまる)
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	◎　(よく当てはまる)

他科目との関連性	・大学における学び(特に2年次以降の演習科目における学び)の基礎を身につける科目である ・他科目の学びや興味・関心、疑問などを話題に挙げても良い(学びをメンバーと共有し、深めるようにする) ・「現代社会とスポーツ」「スポーツ社会学」で扱うテーマが一部含まれる
教科書	Richard Bach著, 五木寛之翻訳(2015)かもめのジョナサン 完成版. 新潮社. ※授業の序盤で用いる
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。
評価方法	発言・発表・ワークシート(50%)、授業への参加態度(50%)をもとに総合的に判断する。なお、演習における貢献はいずれかの項目への加点要素
フィードバック方法	・発言、発表、コメント内容をもとにメンバー(学生・教員)間で建設的にディスカッションする ・発言、発表、コメント等に対して教員が講評する
評価基準	授業の内容について適切に理解し、発言や発表、課題に積極的に取り組んだ者には「S」または「A」、不十分な点がある者にはその程度に応じて「B」または「C」とし、理解・発言、発表・課題がいずれも著しく不十分な者にはその程度に応じて「D」または「E」、評価不能は「F」とする。

授　業 科目名	【Ｇ】 【Ｈ】 【Ｉ】	―――― ―――― 教養導入ゼミ	区分 必 履 修	開講年次	【Ｇ】－ 【Ｈ】－ 【Ｉ】1	単位数	【Ｇ】－ 【Ｈ】－ 【Ｉ】2
授業内容	〈第1回〉 オリエンテーション（ゼミの特徴・方針、簡易的な自己紹介など） 〈前半〉 体育・スポーツ／武道／オリンピック・ムーブメントの意義や価値、課題に関する基礎習得、 ディスカッション、パワーポイント資料作成・発表の基礎習得、自己紹介プレゼンテーションなど 〈中盤〉 体育・スポーツ／武道／オリンピック・ムーブメントの意義や価値、課題に関する基礎習得、 地域・社会貢献／交流活動の一環とした、子どもたちに向けた「スポーツ体験イベント」などの企画・運営、 グループワーク、ディスカッションなど 〈後半〉 体育・スポーツ／武道／オリンピック・ムーブメントの意義や価値、課題に関する基礎習得、 グループワーク、ディスカッションなど 〈第15回〉 総括、次年度の展望と課題の設定						
予習内容	・事前に提示された内容について短時間で作業せず、時間をかけて作業、反芻すること ・授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください						
復習内容	・他の受講生や教員の見解と自分の見解とを比較すること ・話題に挙がった論点、課題を整理し、解決に努めること、良かった点や個性を更に伸ばすこと ・授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください						
その他	受講者の興味・関心に合わせて授業内容を一部変更する場合があります ※Iカリ:【必履修（○お）】						